

2026 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科   | 看護学科                    |                 | 科 目 区 分   | 専門分野  | 授業の方法                                    | 講義演習          |
|---|-------------------------|-----------------|---|---|--|---------------|
| 科 目 名   | 精神の健康増進への看護             |                 | 必修/選択の別   | 必修  | 授業時数(単位数)                                | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年   | 2学年                     |                 | 学期及び曜時限   | 前期  | 教室名                                      | 新館2階3階        |
| 担 当 教 員   | 清水 知子<br>杉原 正美<br>五十里 淳 | 実務経験と<br>その関連資格 | 看護師   |   |  |               |
| 《授業科目における学習内容》  |                         |                 |   |   |  |               |
| 【科目目標】  |                         |                 |   |   |  |               |
| ①現代社会における心の問題と精神保健について理解する  |                         |                 |   |   |  |               |
| ②精神科における対象理解の視点、精神科看護におけるケアの方法について理解する  |                         |                 |   |   |  |               |
| ③地域精神保健活動における社会資源の活用について理解する  |                         |                 |   |   |  |               |
| ④看護師のストレスマネジメントについて理解する   |                         |                 |   |   |  |               |
| 《成績評価の方法と基準》  |                         |                 |   |   |  |               |
| 【評価方法】筆記試験100%  |                         |                 |   |   |  |               |
| 【評価基準】優:80点以上、良:70以上80点未満、可:60以上70点未満、不可:60点未満  |                         |                 |   |   |  |               |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》   |                         |                 |   |   |  |               |
| テキスト① ナーシング・グラフィカ 精神看護学①情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版   |                         |                 |   |   |  |               |
| テキスト② ナーシング・グラフィカ 精神看護学②精神障害と看護の実際 メディカ出版   |                         |                 |   |   |  |               |
| 《授業外における学習方法》   |                         |                 |   |   |  |               |
| 授業後の復習内容については、授業以外での準備学習の具体的な内容を参照  |                         |                 |   |   |  |               |
| 《履修に当たっての留意点》   |                         |                 |   |   |  |               |
| 精神症状やストレスがこころに及ぼす影響を学習するに際し、生体機能学および精神看護学概論で学習した脳の構造と機能及びストレス反応等に関連づけて理解を深めること。精神障害をもつ対象への支援の学習に際し、精神保健福祉法に定められた行動制限および入院形態を理解しておくこと。社会復帰・地域定着支援の学習に際しては、障害者総合支援法の社会資源について理解しておくこと。この科目は精神の健康障害における看護での疾患別看護および精神看護実践論の看護展開につながる。 |                         |                 |   |   |  |               |
| 授業の方法   | 内 容                     |                 |   | 使用教材  | 授業以外での準備学習の具体的な内容                        |               |
| 第1回   | 講義形式                    | 授業を通じての到達目標     | 現代社会における心のありようを理解し、こころの問題を理解する  | テキスト①<br>5章<br>ワークシート1<br>ワークシート2             | 現代社会こころの問題(自殺の現状と対策)について、P83～88を読み復習をする  |               |
|   |                         | 各コマにおける授業予定     | ・現代社会の特徴<br>・現代社会とこころの問題<br>・現代社会と親<br>・現代社会と子ども  |   |  |               |
| 第2回   | 講義形式                    | 授業を通じての到達目標     | ストレスに対する身体的反応を踏まえ、代表的な心身症の症状と看護を理解する  | テキスト①<br>6章<br>ワークシート<br>ジョハリの窓               | 心身症の病態と看護について、P98～102を読み復習をする            |               |
|   |                         | 各コマにおける授業予定     | ・心身症とは<br>・心身症の病態<br>・心身症の患者への看護  |   |  |               |
| 第3回   | 講義形式                    | 授業を通じての到達目標     | 嗜癖、依存と反社会行動との関連を理解し、アルコールおよび薬物依存の看護を理解する。 <u>*家族の捉え方</u>                                    | テキスト①<br>8章<br>ワークシート1<br>ワークシート2<br>プロセスレコード | アルコール依存症の看護について、P124～131を読み復習をする         |               |
|   |                         | 各コマにおける授業予定     | ・依存のとらえ方<br>・逸脱行動と烙印<br>・アルコール依存症、薬物依存症の対象および家族への看護   |   |  |               |
| 第4回   | 講義演習形式                  | 授業を通じての到達目標     | 精神科看護における対象理解の視点を理解する   | テキスト②<br>4章<br>アルコール依存症紙上患者の事例<br>アセスメントシート   | 精神科看護における対象理解のアセスメントの視点p168～172を読み復習しておく |               |
|   |                         | 各コマにおける授業予定     | ・精神科での援助におけるアセスメントの視点(ヒストリー、精神状態の把握、セルフケアレベルの把握)<br>・治療の場の人間関係<br>・事例によるアセスメントの視点(アルコール依存症) |   |  |               |
| 第5回   | 講義演習形式                  | 授業を通じての到達目標     | 精神科看護におけるケアの方法(治療的関わり)について理解する  | テキスト②<br>5章P178～200<br>ワークシート                 | 看護師に求められるコミュニケーション技術 P192～200を読み復習する     |               |
|   |                         | 各コマにおける授業予定     | ・コミュニケーションとは<br>・コミュニケーションに影響を与える要因<br>・日常生活におけるコミュニケーションのかたち<br>・看護師に求められるコミュニケーション        |   |  |               |

| 授業の方法 |        | 内 容         |  | 使用教材                          | 授業以外での準備学習の具体的な内容   |
|-------|--------|-------------|--|-------------------------------|---|
| 第6回   | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 精神科看護におけるケアの方法(治療的関わり)について模擬実践を通して理解を深める   | プロセスレコード用紙                    | 課題: プロセスレコードを記載し、自己の傾向を見出す                                      |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>統合失調症による陽性症状を示す模擬患者とのコミュニケーションの実施</li> <li>コミュニケーションの振り返りと自己洞察</li> </ul>   |                               |   |
| 第7回   | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 精神科におけるケアの方法(日常生活行動の援助、服薬治療における援助)を理解する  | テキスト②<br>5章p200～209<br>ワークシート | セルフケア行動を促す関わりについて、p193～200を読み復習する。                              |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>セルフケアレベル低下の背景</li> <li>治療としての生活援助</li> <li>薬物療法の特徴(抗精神薬、抗うつ病薬)</li> <li>薬に対する思い・薬物療法における看護</li> </ul>             |                               |   |
| 第8回   | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 治療の場としての精神科病棟の特徴について理解する   | テキスト②<br>6章P212～229           | 精神科病棟の特徴について212～220を読み復習する                                      |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>精神科病棟に入院する対象の特徴</li> <li>精神科病棟での入院治療の利点</li> <li>精神科病棟での入院治療により生じる危険性と問題点</li> </ul>                              |                               |   |
| 第9回   | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 治療的環境としての環境調整の方法を理解する  | テキスト②<br>6章P221～229<br>配布資料   | 精神科病棟における安全管理について復習する   |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>心身をいやすための環境づくり</li> <li>精神科病院における安全管理(自傷・他害、災害など)</li> <li>社会生活を送ることができる力を身につける環境づくり</li> </ul>                   |                               |   |
| 第10回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 精神医療におけるリハビリテーションの意味を踏まえ、リハビリテーションに関わる看護師の役割を理解する  | テキスト②<br>7章P232～245           | p243～245を読み、精神科リハビリテーションの最終目標を復習する。P158～159を読み、SSTの目的方法について復習する |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>精神科リハビリテーションの考え方</li> <li>精神障害者にとってのリハビリテーション</li> <li>参加に関する援助の視点</li> <li>全人的リハビリテーション</li> </ul>               |                               |   |
| 第11回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 地域保健活動における社会資源の活用について理解する  | テキスト②<br>7章P246～263           | P250～251の表を参照し、自立支援給付および地域生活支援事業について復習しておく                      |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>治療を継続するための場</li> <li>障害者総合支援法におけるサービス</li> <li>雇用および就労支援</li> <li>家族や当事者によるサポート</li> </ul>                        |                               |   |
| 第12回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 社会復帰、地域定着を実現するための在宅医療との連携について理解する  | 教科書②<br>7章P263～284            | P263～289を読み在宅療養にむけての調整の段階と関わる職種それぞれの役割を復習しておく                   |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>退院を実現するための院内外の連携</li> <li>在宅療養への調整において留意すること</li> </ul>   |                               |   |
| 第13回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 救急医療現場における自殺未遂者、急性薬物中毒の初期対応と看護について理解する   | 教科書②<br>8章 P292～300           | P292～293を読み、自殺未遂者への看護について復習する。                                  |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自殺未遂者への初期対応(身体的治療、精神的対応)</li> <li>救急医療場面での自殺未遂者に対する看護</li> <li>急性薬物中毒への初期対応</li> <li>救急医療場面での薬物中毒者への看護</li> </ul> |                               |   |
| 第14回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 精神科で働く看護師のストレスの特徴とストレスマネジメントを理解する。精神看護に関わる資格認定、役割と活動の実際を理解できる  | 教科書①<br>12章                   | テキスト①P198～199を読み、リエゾン精神看護専門看護師の活動を復習する                          |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>精神科で働く看護師のストレスとストレスマネジメント</li> <li>専門看護師(精神看護専門看護師、リエゾン精神看護専門看護師)の活動の実際</li> <li>認定看護師の活動</li> </ul>              |                               |   |
| 第15回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | まとめ 終講試験   |                               |   |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>全体のまとめ</li> <li>筆記試験(50分)</li> </ul>  |                               |   |